

## ○ディプロマポリシー

本校では、学則に定める所定の単位を修得し、実践的・創造的技術者として以下のディプロマポリシーに基づく必要な能力を身につけ、5年間の課程を修了した者に対し、卒業を認定します。ただし、各コース及び分野の特性に応じた専門性については、カリキュラムポリシーに基づく教育課程の中で段階的に育成する。

## 学習目標

### DP—A：社会・倫理的理解力

人類の歴史的背景、文化及び価値観の多様性を踏まえ、技術が社会や環境に与える影響を多角的に捉え、地球的規模の社会問題・環境問題について技術者の立場から考察できる。また、技術者が社会に対して負う責任を理解し、倫理的配慮に基づいた判断ができる。

### DP—B：地域・社会課題対応力

地域産業や社会が直面する課題を把握し、工学的知識や技術を活用して、その解決に向けた基礎的な検討や提案を行うことができる。地域社会との関わりを意識し、実践的な視点で課題に取り組む姿勢を有する。

### DP—C：工学基礎力

数学、自然科学、情報技術及び基礎工学に関する幅広い知識を修得し、それらを組み合わせることで技術的課題を理解・説明し、基礎的な問題解決に応用できる。

### DP—D：専門分野応用力

各コース及び分野における専門分野の知識と技術を修得し、専門的観点から課題を捉え、適切な手法を選択して応用することができる。複数分野を有するコースにおいては、それぞれの分野の特性を理解した上で専門性を発揮できる。

### DP—E：課題解決・協働力

技術的課題を分析・整理し、解決に向けた計画を立案・実行し、その結果を評価・改善する一連のプロセスを遂行できる。また、他者と協働し、役割分担や意見交換を通じてチームとして課題解決に取り組むことができる。

### DP—F：コミュニケーション力

文章、口頭発表、図表及び視覚的表現を用いて、技術的内容や自身の考えを論理的かつ分かりやすく伝えることができる。また、日本語による的確な記述・討論能力に加え、基礎的な英語による文章作成及び簡単な口頭コミュニケーションを行うことができる。

### DP—G：主体的・継続的学修力

技術の進展や社会の変化を踏まえ、自らの専門分野及び関連分野について主体的に学び続ける必要性を理解し、継続的に学修に取り組む姿勢を身に付けている。